



参加定員 - 350人

定員になりましたので、申込受付を終了致します。なお、当日、インターネットライブ中継を行っておりません。下記のボタンより、会場の様子をご覧ください。

インターネット生放送

平成14年1月29日
(火)
13:00 ~ 17:30

[Click Here](#)



映像を見るにはRealPlayerが必要です。入手するには、下のボタンを押してください。

地震防災シンポジウム まち 大震災から都市を守る ～阪神・淡路大震災の教訓を活かして～

1 趣 旨

未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から7年が経過しようとしているが、近年、有珠山・三宅島の噴火、伊豆諸島群発地震、鳥取県西部地震及び平成芸予地震などの大規模災害が発生しており、さらには、南関東直下地震、東海地震、東南海・南海地震などの発生が危惧されている。

このような状況のなか、阪神・淡路大震災の教訓と7年間の防災対策の取組み、今後のあり方等についてのシンポジウムを開催し、住民意識の高揚並びに国、地方公共団体、防災関係機関等の防災対策の充実を図る。

2 内 容

(1) 日時

平成14年1月29日(火) 13:00 ~ 17:30

(2) 主催

地震防災シンポジウム実行委員会
(総務省消防庁、兵庫県、日本災害情報学会)

(3) 後援

内閣府、気象庁

(4) 協賛

JR東日本、日本電信電話株式会社、東京ガス株式会社、東京電力株式会社、(社)日本損害保険協会、(財)日本消防設備安全センター、(財)消防科学総合センター、(財)消防試験研究センター、(財)全国危険物安全協会、(財)日本防災協会、(財)日本消防協会

(5) 場所

東京国際フォーラム(Bブロック5F レセプションホール)
[\(東京国際フォーラムの詳細はこちら\)](#)

(6) 入場料

無料

(7) プログラム

- 13:00 開会あいさつ
- 13:10 基調講演
貝原俊民((財)兵庫地域政策研究機構理事長、前兵庫県知事)
「阪神・淡路大震災後の7年の歩み」(仮題)
- 14:10 基調講演
廣井 脩(東京大学社会情報研究所長)
「阪神・淡路大震災に学ぶ」
～阪神・淡路大震災後の防災対策～(仮題)
- 15:10 休憩

- 15:25 パネルディスカッション
「今後の地震防災対策のあり方」
～阪神・淡路大震災の教訓を活かして～
コーディネーター：
伊藤和明（防災情報機構・専門委員、元NHK解説委員）
パネリスト：
廣井 脩（東京大学社会情報研究所長）
島崎邦彦（東京大学地震研究所教授）
白石真澄（（株）ニッセイ基礎研究所社会研究部門主任研究員）
河田恵昭（兵庫県参与、京都大学防災研究所教授）
中川浩明（消防庁長官）
- 17:25 閉会あいさつ / 廣井 脩
（地震防災シンポジウム実行委員会委員長）

(8) 問合せ先

[メールによる問合せはこちらまで](#)

[インターネット放送を見たい方はこちら](#)

[RealPlayerのダウンロードはこちら](#)